



広島同窓会会報

第26号

発行 広島工業大学同窓会
編集 広島工業大学同窓会編集委員会
731-51 広島市佐伯区三宅2丁目1-1
広島工業大学内広島工業大学同窓会
(電)0829-21-3121 内線570

まぶたをとして
あの日に帰ろう



Photo by Takashi Thikamune
class of 1970 Department of Industrial Engineering

国際過渡化時代に想う

同窓会の皆さまには益々お元気で活躍のことと存じます。平素から本大学の教育、あるいは運営につきましてお世話になっておりますことを深く感謝する次第でございます。また昨年の創立30周年にあたりましては、コメント「愛の詩」の寄稿を含め、格段のご厚意を賜りましたことを改めて心からお礼申し上げます。

さて本学も創立30周年を節目として、来たるべき21世紀に向けて新たな羽ばたきの段階に入っております。その一つが目まぐるしく変わる世界の動きに対処できる大学づくりであります。ここ数年の世界情勢を見ますと、一世紀の間に一回か二回起きるような出来事が集中し、大変革の様相を見せています。例えば東西対立の一方のリーダーであったソ連邦の解体を含めて世界は新秩序の時代を迎えようとしています。つまりオールドワールド対立の時代から、国の枠を超えて共存していくとする気運の高まりといえます。私はこの動きを「国際過渡化時代」と言い表しています。一つ一つの出来ごと、変化を激しとすると、その渦は同じように見えますが、それぞれが異なる渦を巻きながら流れている、というわけです。

今年6月には、ブラジルのリオデジャネイロで102カ国の首脳が参加して環境と開発に関する国連会議（地球サミット）が開

かれました。会議では「地球の環境を守ろう」という大義名分の総論に対し、各国とも賛成であるわけですが、実行段階の各論に入りますと先進国と発展途上国との間に意見の食い違いが浮きました。東西の対立は一旦解消されたわけですが、先進国対途上国という南北間の対立は依然として残っているわけで、この動き一つを見ましても過

渡化の時代は、21世紀を迎えるための陣痛としてまだまだ続きそうです。このような時代であるだけに、大学が対峙し、各界から国際的に通用する大学であるには国際性を身につける人材の養成が強く求められているわけでありませぬ。

文部省は昨年、大学設置基準の改正を行い、大学の教育・運営について大学側にこれまでにない自由度を与えました。このため各大学は個性のある大学像を求めた大綱化くりに入っております。進学年齢人口は今年をピークに減少し、私学とりましては厳しい時代に入っています。激進な表現になりますが、大学はこれまでの「学生を運ぶ」側から「学生から選ばれる」側

に変わってきたわけですから、それだけに大学の教育・研究内容、施設設備等が今以上に問われてきますし、そのことは教員、職員、職員の個々の資質にも関わってきます。

本大学におきましても、創立以來築き上げてきた伝統を維持しながら、新しい大学像を目指しておりますが、教育・研究面はもとより経営面においてもそれぞれの自己改革能力があるかが試されています。この一連の状況を「冬の時代」と言っておりますが、私は改革のためには、むしろチャンスである、と考えています。改革の過程において多くのハードルを越えなければなりません。教職員

は一旦として新しい世紀に飛躍できる大学をつくっていく決意でございます。第二は、来年開設を予定しております新しい学部であります。本大学は昭和36年に開学した工業短期大学を土台に38年に4年制大学に移行し、工学部だけの単科大学として教育及び施設設備の充実に向け、平成元年には大学院（修士課程）を開設するなど2万人を超える人材を社会に送りだし、今

日に至っていることは皆さまもご承知のことです。

このように大学としての基盤も整い、また同窓会の皆さまによる各分野での活躍によりまして、社会から立派な大学として認められ、その存在は地域の中にとどまらず、新しい学部を開設したのと同じく、時代のニーズを先取りする教育とさらに学問研究の充実を図り、地域社会の教育・研究センター的な役割を果たすと共に、国際的にも通用する横の深い大学を目指し、グローバル化した時代に対応できる人材を育てていく、という目標とマツがあるからであります。

新しい学部は、工学部の建築学科を改編転換して、環境部環境デザイン学科と改称いたします。建築学科が案を請うことについて拙しむ声もありますが、同窓会がこれまで培ってきた教育・学問研究を継承し、環境の分野を探り入れることによって時代に対応できる学部学科を形成していく、とするものであります。どうか本大学の新学部にかける真意をご賢察くださいまして、同窓会の皆さまのご協力も心から期待するものであります。

所信の一端を述べさせていただきましたが、同窓会の皆さまには今後とも変わらぬご支援をお願いいたしますと共に、皆さま方のご健勝を心から祈念いたします。

新しい世紀に飛躍できる大学づくりを決意



広島工業大学学長 鶴 巖
(同窓会名誉会長)

第27回広島工業大学同窓会



第27回定期総会の報告

広島工業大学同窓会副会長
道田 憲治

平成4年度の広島工業大学同窓会総会が、4月25日(土)午後5時より6時まで、懇親会が、6時より8時まで広島県民文化センターで、開催されました。総会では永見善吾会長の、同窓会活性化への熱のこもった挨拶で始まり、長崎(愛媛県支部長)議長から卓起した議事進行で、総会は、スムーズに進行しました。

古川幹事長の活動報告の中では、母校30周年記念に、記念像を贈りその除幕式が、11月、大学の周年式典の前には輪転機卸立席のものや車か、というわれ、我々同窓生による募金総額が、200万円以上集まったとの報告とお礼の言葉が述べられました。役員改選では、永見会長(昭和42年電子卒)が再任され、幹事長には、湯原厚氏(昭和39年電気卒)が、選ばれました。

懇親会は、小西正明(昭和43年機械卒)の軽妙な司会で、楽しくごちそうに行われ、在校生のグリーンコーラスグループが家に、花を添えました。

暖かもありこちらにて学科学別の余興があり機械、建築学科等では人数が盛上り、私の卒業学科の経営は、参加者が少ない(大変さびしい)思いをしました。

次回総会には必ず一声二声か三声で多くの同窓生に参加させたいと思っています。参加総人数は94名でした。

平成4年度活動方針に思う

今年度の活動方針の一つに同窓会(支部)活動の活性化(発)化があります。これは今年度だけの発(発)でなく、大が、あるいは同窓会が存続する限り永久的な方針であると思います。

大学を卒業して希望と不安とを胸に秘め、歩きそれぞれの道を歩み始めるわけですが、昔き初め3年5年10年……進しなが一度や二度休んで希望、現実のギャップ。人には言えない挫折感、自分自身で気がつかない自己嫌悪……など同窓会に参加し、懐かし先生方、そして同窓生クラブ仲間と思いきり語り合ってみることも。

急な坂を登りキョーランをおごする、モニカの食堂で先輩にラーメンをだごこつてもらった等々が、思い浮かび、そこには青春時代の自分がいる。それは今の自分を促すめざしてくれる、阿とも言えないひとときであります。

同窓会は自分自身の居る場である。 " " 活力の源の場である。 " " 青春の場である。 " " 情報の場である。

これらも同窓会活性化の為のネットワークづくり、大学との連携を、一役員として微力ながら頑張っ行ってきたいと思っています。今後とも皆様方の御協力をよろしくお願い致します。

昭和45年経営工学科卒

(有)共栄工業取締役社長

山口周南支部の誕生

全国に散らばり活躍している2万余の同窓生の連携を計り、母体同窓会本部の情報網を能率よく伝達出来る。或いは同窓生相互(つまりは異業種間)の情報交換がスムーズに成され、それにより同窓生各人としての同窓会活動の活性化が可能である。この様な組織を形成することこそ支部担当の担う役割であると考えている。近年、広島工業大学を囲む、つまり広島県を中心とする四国・九州地方の各県支部が足見に活躍し始めている事は支部担当としては喜ばしい限りである。近日には、岡山、大分県、鹿児島それぞれ別の県支部が誕生する予定である。そんな各県支部間の連携、各支部長・副支部長会議の開催など同窓会の活性化に向けての活動の可能性は広がる。これには各県支部の役員或いは発足に向けての世話役の尽力も必要となることから各県の協力無しでは不可なりであり、ここに皆んなの協力を要する次第である。

さて、昨年11月に発足した愛媛県支部に続いて山口周南支部が4月18日に発足した

事を報告致します。発足に当たっては、長弘支部長(昭和41年電子卒)、町田(昭和43年機械卒)、林(昭和46年土木卒)、岡田支部長ならびに米田(昭和46年土木卒)幹事長や会計担当の長弘(昭和43年電気卒)さん、他役員らが多忙な仕事のあまをこなして堅実に努力され、会員数30名の山道にのびる地域を見事まとめた。

発会式当日、幹事長は会議と必ず仕事に没頭されていらしたが、定刻より早めに会場に着かれ早速、支部役員の方をおなされた。発会式冒頭の方挨拶で、幹事長は「立派な社会人となつた皆さんに会えて嬉しい」と相好をくされた。30年に渡って日本の産業界に有能な技術者を輩出して来た事を誇りとし、これからは教育方針に忠実に広島工業大学を教育のため尽くして頂く事を、また職を退き退きおぼろげならん大学の現状に勉め、現在大学が閉鎖している構想の一部を述べ、全国の2万人の同窓生の協力を要した。

長く懇親会には談笑の満で賑わった。そして、同じ教育方針、教育環境を共有して育った者の理解しあふ、談話の賑わいであった。

なお、岡山県支部が10月31日発会の運びとなった。岡山で活躍の皆さん、是非ホトキョー岡山まで来よう。

支部担当 中西 功次 昭和43年機械工学科卒
(広島工業大学基礎教育助教授)



広島工業大学同窓会周南支部発会式

平成4年度 同窓会役員

会長	永見 善吾	電子
副会長	道田 憲治	経営
	嶋田 野広	機械
幹事長	湯原 厚	電気
副幹事長	手越 義仁	建築
	古川 博昭	機械
会計	川畑 敬志	電子
	高瀬 明	機械
	寺地 越	電子
会計監査	山根 隆雄	電子
	水原 建治	機械
書記	松井 元雄	機械
	内本 康雄	建築
幹事	村田 弘志	電子
	玉野 和彦	"
	重広 孝則	"
	藤上 嘉也	電気
	原田 義治	電子
	寺田 光夫	"
	片山 隆之	"
	松江 孝博	機械
	小西 正明	"
	小池 利明	"
	吉田 和信	"
	松岡 善仁	"
	山平 秀	"
	伊藤 秀敏	土木
	菅 康三	"
	村中 朝樹	"
	菅原 辰孝	建築
	大林 真	土木
	西田 弘國	経営
	松広 通	"
	西野 達夫	"
	中西 眞次	機械
	森重 義信	"
	砂田 謙二	電子
	近宗 貴	経営

平成3年度同窓会会計報告

平成3年度総収入	22,660,875
平成3年度総支出	20,304,385
残 高	2,356,490
<収入の部>	
平成2年度繰越金	2,904,999
入金金	2,898,000
終身会費	16,071,960
総会会費	356,000
雑収入	153,880
預金利息	277,796
合 計	22,660,875
<支出の部>	
会誌発行費	1,693,629
会報発行費	522,288
名簿発行費	1,993,150
総会開催費	744,284
支部費	593,150
在学生奨励費	1,214,000
卒業記念品費	494,190
通信費	4,484,247
消耗品費	870,361
交通費	303,560
会議費	179,593
役員手当	156,590
委託費	1,209,590
同窓会基金繰入金	3,000,000
費学基金繰入金	716,000
母校支援寄付金	200,000
予備費	1,952,321
合 計	20,304,385
<基金の部>	
平成2年度繰越金	98,076,738
本会計より繰入れ	3,000,000
預金利息	4,448,757
合 計	105,525,495

奨学会会計報告

<収入の部>	
平成3年度繰越金	12,430,612
繰入金	716,000
預金利息	546,524
寄付金	171,310
合 計	13,864,446
<支出の部>	
奨学金	630,000
基金	13,234,446
合 計	13,864,446

平成4年度予算

<収入の部>	
平成3年度繰越金	2,356,490
10年入金	3,045,000
終身会費	15,300,000
総会会費	400,000
雑収入	100,000
預金利息	110,000
合 計	21,311,490
<支出の部>	
印刷製本費	4,500,000
会費	1,432,000
支部費	240,000
助成費	1,930,000
通信運搬費	4,950,000
預金掛金	1,410,000
旅費交通費	1,490,000
役員手当	32,000
委託費	1,210,000
福利費	100,000
慶弔費	100,000
賞借料	133,000
雑支出	20,000
同窓会基金繰入金	2,500,000
費学基金繰入金	630,000
予備費	634,480
合 計	21,311,490

近況報告PART1

温 々とした学生生活を終えて社会の厳しさを味わって、早くも1年と2ヶ月が過ぎ去りとしています。しかし、まだ配属後5ヶ月という事で現場経験は薄く、日々が勉強で新鮮なのですが、流れる様に早く過ぎてしまいます。

東京都、日立電子サービスという会で東京都港区、品川区大型コンピュータの保守をメインに、色々なお客様を巡回しています。ソフト業界のOS Eの女性は、最近では進出が目まぐるしいですが、ハードではまだまだ絶対数が少なく、弊社でもOA機器としては3年くらい前から、そして大型システムでは私達が初めての保守員ということでは内外で外に留めて頂いています。しかし、まだまだ世間との壁は厚く、数々のハードルを仲間と共に越えねばならぬ状況にあると言えます。それを務めるとして今後も奮闘しつゆきといひたいと思います。また、サービス業なので女性であるが故に有利とならな



がきつとあると思うので、それを見出して強みにできれば...という期待も抱いています。工科系の方は、どの分野でも数少ない女性とされており、私自身も、今後は多方面で信頼される人間になれる様に努めたいと思います。

私自身も、今後は多方面で信頼される人間になれる様に努めたいと思います。三村厚子(平成3年電子卒) 日立電子サービス(株)



工大すぴりっと

卒業して早いもので12年、同期の仲間たちは心に暮らしているのか、ふと思う今日も昔です。皆さん元気ですか?

私のほうの近況とは申しますと、長い単身生活にフレンドを打ちつる3月に結婚、早いもので昨年の7月には長男が誕生しました(これがまだわが1人(注)計算は合っていない)、独身時代は考えられなかった子供中心の毎日であります。又、今年3月に結婚、そしてもう一人の妹もこの7月にアメリカで結婚するということで7月に結婚式の為に英会話の強制中。等々これまで相も変わらず忙たはっています。そうそう、それが学生進路スポーツとして水泳も続けています。

他方、仕事についても業種の内容が変わりました。三進産業㈱に入社した(三進と言うのも存じ無いのぼろぼろが断然多い)と思いますが、実はアルミ溶解炉を主とした工業用炉の国内トップメーカーなので「専務部」という営業部門で昨年度営業ファンセ部門

近況報告PART2

やハードウェア、アルミ関連設備及び資材の販売等に従事してきましたが、専務部門の転任(前三進専務に昇進)に伴い今年4月より本社転任となりました。現在第二エンジニアリング業務管理室で日忙しく仕事に振り回されている今日この頃です。専務部では、様々な販売活動の中で随分の方と知り合いました。担当を譲り、又、ご下命を頂いたので色々お世話になりました(この欄を借りて厚く御礼申し上げます。)

こんなばたばたの平凡な私でありましたがこれからも自分なりに「希望と幸福」を胸に目指していこうと思っています。同窓生の皆様のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。

立花千秋(昭和55年機械卒) 三進産業(株)



平成4年7月22日 広島県内にて
①②③結婚した妹・真珠 ④私・千秋 ⑤ムスコウ成
⑥義妹・チャールズ(7月結婚) ⑦妻・千晴 撮影者:7月に結婚する妹・久美

広島工業大学人事

- 新規就任者(4.4.1付)
教務職員 教授(土木) 水野 徳二郎
// // () 光島 悟
// // () 東元 定雄
// // (電機センター)
// // 重川 直吉
特任教務職員 教授(経営) 菅原 正博
// // (一般) 高本 友彦
教務職員 講師(機械) 岡部 卓治
// // (経営) 宋 相寛
// // 助手(機械) 鈴村 文寛
新規就任者(平成4年4月18日付)
教務職員 助教(建築) 中村 隆夫
教務職員 助教(建築) 野瀬 久良
教務職員 助教(機械) 藤原 川一
教務職員 助手(機械) 宇都宮 浩司

- 退職(4.3.1付)
教務職員 教授(一般) 高本 友彦
// // () 大島 美男
嘱託教務職員 // (経営) 小林 敬二
// // (建築) 山本 常信
// // (機械) 村井 昇
特任教務職員 教授(電機) 中井 賢
// // (土木) 瀧 茂
嘱託技術職員 技師(機械) 岡野 勝夫
学生指導
電子工学科 助教後 重田 孝則
学生の健康 工学士 宇
取得年月日 平成4年2月20日
職 名 名 「ハイボルトランジスタを用いた駆動ICフィルタの高集積化に関する研究」
授与大学 大阪府立大学(工学555号)

- 会議・会報の情報収集にご協力を!
会議・会報をもっと身近なものにしたいために、どのみなさんでもよいですから、皆様方の声を同窓会へお送り下さい。(連絡先) 広島工業大学同窓会事務局
〒731-51 広島市佐区三三2-1-1
TEL (0829)21-3121(内570-7)
FAX (0829)22-1480
同窓会地域支部発足にご支援をどうぞ!!
山田支部の発足式(同月31日)にもごまじりました。会場はホテルニューオーサキ5階30分前発会式。6時から懇話会です。おみの山ならに招待しての同窓会をさしあげます。是非ご参加ください。
大分県支部は11月中旬の発会に向けて準備中。お問い合わせは事務局(55年土木系)福岡エンジニアリング部(55年電機)へお申し込み下さい。
高尾支部は今年度11月の発会に向けて準備中。お問い合わせは事務局(44年土木系)徳島県市役所管理室管理室公室電話0892-24-1111・本誌編(52年建築系) 高尾支部事務局0992-53-8282まで。

- 去る昭和61年、同窓会が創立30周年を迎えたのを機に、記念事業の一環として名簿の電算化が開始された。
全国に散らさる同窓会員の情報ネットワークの基盤となる名簿電算化および作成のための基礎処理は、時代に即応した画期的な事業であったから、それに携わった人々の苦勞もまた生半可なものではなかった。その後、大学と同窓会との協力体制が敷かれ、大学が設置した端末機の一部を利用することにより、学内外の電算処理が本格的に動きはじめた。形式的です。大分県が主催する卒業生データを使って同窓会こそメンテナンス業務と情報サービス業務をまかされ、クラブ別、ゼミ別、地区別名簿の作成と一ラフシートの出印刷が可能になった。
新しい形の発会や学卒の機関誌の配布など同窓会の活発な動きとあわせて、これからの利用者がぞくぞくと増え、同窓会事務局はその対応に忙しむ。また住所変更などによる名簿の訂正もこの春は数干通にもおよび、メンテナンスを担った事務室の大田佳子さんはおかわりの接待があった。
因みに広島工業大学の電算センターに在籍している広尾隆己さんは経営工学科第一期の卒業生である。今、大学が格差社会で電算化推進に全力を注ぎ、それを追いつく共に同窓会に関するデータベースを少しでも完璧なものにしようといを奮闘している。

編集後記

今年の夏休みは、例年になく空回り感の濃く感じられています。海水浴場を海水が起りそうになってから考えていたのはいままでたつてもなくならないと思います。
今、大学をとりまく環境が大きく変化する

- 電気工学科 助手 大村 道郎
学生の健康 工学士 宇
取得年月日 平成3年8月13日
職 名 名 HIERARCHICAL FLOORPLANNING FOR VLSI BUILDING BLOCK LAYOUT
授与大学 広島大学(製15号)

- 平成4年4級同窓会員名簿頒布予約 /
○頒布価格 1冊3,000円(送料込み)
○発行予定 平成5年3月末
○申込方法 会員番号(学生番号)氏名送付先を明記し同窓会事務局へお申込下さい。
支払いの方法については、後日連絡いたします。(※同窓会会員以外には頒布いたしません。)

- も見直しが必要になるのではないかと思います。ご意見をお待ちしています。
学長をはじめ、同窓会各席の原稿依頼に快く応じて下さったおかげで第28号を出すことができました。心からお礼申し上げます。これからもどうぞよろしくお願ひします。(同窓会報編集委員一同)



広島県佐々木さん